官報 號外

昭和八年三月二十五日

○第六十四回帝國議會 貴族院議事速記錄第三十號

昭和八年三月二十四日（金曜日）午前十時十五分開議

議事日程 第三十號

昭和八年三月二十四日
午前十時開議

第一 醫師法中改正法律案（政府提出、衆議院回付） 會議

第二 鐵道敷設法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第三 帝國鐵道會計法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第四 地方鐵道補助法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第五 兩備鐵道株式會社所屬鐵道外四鐵道及兼業ニ屬スル資産買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出、衆議院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第六 富山鐵道株式會社所屬鐵道中堀川新笹津間經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出、衆議院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第七 樺太地方鐵道補助法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第八 恩給法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第九 輸出絹織物取締法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第十 兒童虐待防止法案（政府提出、衆議院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第十一 重要美術品等ノ保存ニ關スル法律案（政府提出、衆議院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第十二 時局ニ關スル決議案（公爵一條實孝君外四十二名發議） 會議

○議長（公爵德川家達君） 是ヨリ書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

（角倉書記官朗讀）

昨二十三日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ卽日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

米穀統制法案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

關稅定率法中改正法律案

昭和七年法律第四號中改正法律案

昭和八年法律第三號中改正法律案

海軍工廠資金臨時補足ニ關スル法律案

舊韓國起業資金貸付ノ爲發行シタル英貨興業債券ノ元利支拂爲替差損金補給ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ卽日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

度量衡法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ノ回付ヲ受ケタリ

醫師法中改正法律案

同日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

時局ニ關スル決議案（公爵一條實孝君外四十二名發議）

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

歯科醫師法中改正法律案

都市計畫法中改正法律案

擔保附社債信託法中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ衆議院提出案ハ同院ニ於テ本院ノ修正ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

身元保證ニ關スル法律案

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

恩給法中改正法律案可決報告書

兒童虐待防止法案可決報告書

重要美術品等ノ保存ニ關スル法律案可決報告書

本日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

恩給法中改正法律案中修正案（伯爵柳澤保惠君發議）

○議長（公爵德川家達君） 是ヨリ會議ヲ開キマス

○子爵池田政時君 此際日程ヲ變更シテ、日程第十二、時局ニ關スル決議案ヲ劈頭ニ於テ審議セラレムコトノ動議ヲ提出イタシマス

○男爵岩倉道倶君 贊成イタシマス

○議長（公爵德川家達君） 池田子爵ノ議事日程變更ノ動議ニ、同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

（起立者多數）

○議長（公爵德川家達君） 過半數ト認メマス……政府ノ同意ヲ得マシタ

○議長（公爵德川家達君） 時局ニ關スル決議案、公爵一條實孝君外四十二名發議、會議、決議案ノ朗讀ハ省略シテ御異議ゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス

（左ノ決議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ揭載ス）

時局ニ關スル決議案

右提出候也

昭和八年三月二十三日

明治二十五年三月三十一日 第三種郵便物認可

發議者

公爵一條　實孝　公爵鷹司　信輔
侯爵細川　護立　侯爵中御門經恭
侯爵佐佐木行忠　侯爵松平　康昌
伯爵松平　賴壽　伯爵黑木　三次
伯爵酒井　忠正　子爵大久保　立
子爵井上匡四郎　子爵岡部　長景
子爵西尾　忠方　眞野　文二
石塚　英藏　男爵鍋島　直明
男爵斯波忠三郎　上山滿之進
伊澤多喜男　塚本　清治
男爵井田　磐楠　桑山　鐵男
男爵鄉　誠之助　男爵藤村　義朗
男爵渡邊　汀　男爵稻田　昌植
男爵深尾隆太郎　男爵渡邊　修二
阪本釰之助　石渡　敏一
橋本圭三郎　竹越與三郎
倉知　鐵吉　菅原　通敬
青木　周三　小坂　順造
服部金太郎　森　平兵衛
田村　新吉　金杉英五郎
濱口儀兵衛　小森嘉平治
大谷　尊由

賛成者

公爵山縣　有道　公爵伊藤　博精
侯爵大隈　信常　侯爵德川　賴貞
伯爵林　博太郎　伯爵溝口　直亮
伯爵小笠原長幹　伯爵二荒　芳德
伯爵酒井　忠克　伯爵橋本　實斐
伯爵後藤　一藏　男爵大井　成元
子爵梅小路定行　子爵青木　信光
子爵冷泉　爲勇　子爵伊集院兼知
子爵西大路吉光　子爵前田　利定
子爵渡邊　千冬　子爵白川　資長
子爵池田　政時　子爵野村　益三
子爵今城　定政　子爵西四辻公堯
子爵新庄　直知　子爵加藤　泰通
子爵吉田　清風　子爵立見　豐丸
子爵立花　種忠　子爵豐岡　圭資
子爵秋月　種英　子爵片桐　貞央
子爵大河內輝耕　子爵米津　政賢
子爵伊東二郎丸　子爵保科　正昭
子爵井伊　直方　子爵三室戸敬光
子爵松平　保男　子爵蒔田　廣城
子爵秋元　春朝　子爵水無瀨忠政
子爵松平　忠壽　子爵富小路隆直
子爵裏松　友光　子爵秋田　重季
子爵森　俊成　子爵戶澤　正己
子爵鍋島　直繩　子爵織田　信恒
子爵岩城　隆德　子爵大岡　忠綱
子爵高橋　是賢　子爵土御門晴善
子爵米倉　昌達　子爵梅園　篤彥
子爵安藤　信昭　子爵舟橋　清賢
子爵綾小路　護　子爵高木　正得
子爵三島　通陽　佐藤　三吉
大島　健一　男爵坂本　俊篤
木場　貞長　男爵阪谷　芳郎
犬塚勝太郎　織田　萬
男爵平野　長祥　男爵紀　俊秀
松浦鎭次郎　芳澤　謙吉
男爵四條　隆英　男爵東久世秀雄
若林　賚藏　三井清一郎
內田　重成　男爵北大路實信
男爵今枝　直規　坂西利八郎
川崎　卓吉　男爵千田　嘉平
太田　政弘　山川　端夫
男爵菊池　武夫　森　賢吾
男爵千秋　季隆　男爵淺田　良逸
男爵黑田　長和　男爵岩倉　道俱
男爵今園　國貞　男爵辻　太郎
男爵金子　有道　男爵赤松　範一
男爵松岡　均平　男爵有地藤三郎
男爵井上　清純　男爵高崎　弓彥
男爵周布　兼道　男爵大藏　公望
男爵東鄉　安　男爵矢吹　省三
男爵北島　貴孝　男爵伊藤　文吉
男爵原田　熊雄　男爵沖　貞男
男爵伊藤　一郎　男爵足立　豐
男爵長　基連　男爵高木　喜寬
男爵松尾　義夫　男爵伊江　朝助
男爵中村　謙一　男爵近藤　滋彌
男爵橋本　正輝　男爵關　義壽
男爵松平外與曆　男爵肝付　兼英
男爵安藤達次郎　男爵園田　武彥
男爵杉溪　由言　男爵加藤　成之
男爵岩村　一木　男爵山根　健男
男爵德川　喜翰　中村純九郎
藤澤幾之輔　片岡　直溫
高田　早苗　坂野鉄次郎
山岡萬之助　宮田　光雄
中川小十郎　田所　美治
永田秀次郎　馬場　鍈一
次田大三郎　松村　義一
丸山　鶴吉　大塚　惟精
加藤政之助　小久保喜七
古島　一雄　大橋新太郎
菊池　恭三　今井　五介
太田　清藏　渡邊千代三郎
門野幾之進　林　平四郎
根津嘉一郎　下出　民義
白勢　春三　磯貝　浩
江口　定條　西本健次郎
名取　忠愛　岸　清一
久保市三郎　高島　順作
上松　泰造　三橋　彌
山隈　康　藤原銀次郎
野村茂久馬　久米田新太郎
仲田傳之藏　油井　德藏
吉田羊治郎　津村　重舍
宇野　勇作　佐藤鐵八郎
鵜澤　總明　鈴木　幸作
長野　忠次　岩田　宙造
田中德兵衛　大澤德太郎
山本　米三　野村　德七
絲原武太郎　青木才次郎
水野莊次郎　大和田健三郎
岩崎　清行　松岡　潤吉
大西虎之介　澁澤　金藏
瀨川彌右衛門

貴族院議長公爵德川家達殿

時局ニ關スル決議

貴族院ハ政府ガ外ハ滿洲國ニ對スル既定ノ方針ヲ貫徹スルト共ニ新ナル國際情勢

ニ適用スル政策ヲ樹立シ以テ東洋ノ平和ヲ確保スルニ遺算ナキコトヲ期シ、內ハ庶政ヲ釐革統制シ財政ノ鞏固ヲ圖リ以テ國運ノ伸張ニ資シ、文敎ヲ昌ニシテ國民精神ノ作興ニ努ムルハ邦家ノ急務ナリト認ム

右決議ス

〔伯爵松平賴壽君演壇ニ登ル〕

○伯爵松平賴壽君　今ヤ本議會ノ將ニ終ラムトスルニ際シマシテ、此決議案ヲ提出イタシマスル所以ノモノハ、現下內外ノ狀勢ニ鑑ミ、又本議會ニ於テ各般ノ政務ヲ審議イタシマシタル結果、玆ニ我ミ共ノ所信ヲ披瀝シ置クノ必要ヲ感ジタル爲メデゴザイマス、抑〻東洋ノ平和ヲ確保シ、延イテ世界ノ平和ニ貢獻セムトスルコトハ、我ガ帝國ノ傳統的國是デゴザイマス、其責任ハ實ニ我ガ帝國ノ雙肩ニ懸ッテ居ルノデゴザイマス、而シテ曩ニ滿洲國ノ成立以來、其安固發展ハ即チ東洋平和ノ根源トナル次第デアリマスルカラ、帝國ハ其成立ヲ承認シ、且ツ是ガ國力ノ助長ニ全力ヲ竭シツツアル次第デゴザイマス、而シテ今ヤ勇武ナル皇軍ノ奮鬪ニ依ッテ、熱河ニ於ケル兵匪ハ迅速ニ之ヲ一掃スルコトヲ得マシテ、滿洲國ハ日ヲ逐ウテ平和ニ赴キツツアルコトハ、國民ノ齊シク感謝ニ堪ヘナイ所デアリマス、併ナガラ是ヨリ後、滿洲國ノ民心ヲ安定セシメ、產業ヲ開發シ、經濟ノ發展ヲ圖リ、庶民其堵ニ安ンズル樂土ヲ現出シ、以テ東洋ノ平和ヲ如實ニ世界ニ示スニ至リマスルニハ、相當難問モアリ、又其施設方法モ多岐多端ニ亙リマスルカラ、關係各部局ニ當ル者ノ畢生ノ力ヲ致スト共ニ、其一致協力ヲ最モ必要トスルコトト信ジマス、又一方列強ノ狀勢ハ刻々變化シ、朝ヲ以テタヲ測ラレザルモノガアリ、其影響ハ直ニ東洋ニ波及スルノミナラズ、今ヤ我國ハ國際聯盟ヲ脫退シ、東洋平和確保ノ責任一ニ我國ノ態度如何ニ在スル次第デアリマス、此國際ノ新タナル情勢ニ直面シテ、能ク我國ノ外交ヲ展開シ、其國家的責任ヲ完ウスルコトハ、朝野一致ノ協力ト、外交、軍事ノ密接ナル協調ニ俟タナケレバナラナイト信ジマス、又經濟方面ニ關シマシテハ、目下產業恢復ノ兆ヲ見ルニ至リマシテ、失業者ノ數モ漸次減少ノ傾向ニアリマスルコトハ喜ブベキコトデアリマスルガ、世界的ノ經濟復興ハ未ダ前途遼遠ノ感ガアリマス、此間ニ處シテ產業ノ統制、貿易ノ助長、通貨ノ調節等、國民經濟ノ振興ト共健全ナル發達ニ對シ、政府ノ周到ナル配意ト施設トニ俟ツベキモノガ多々アリト信ズルノデゴザイマス、殊ニ財政ニ付テハ、十億餘ノ公債ヲ以テ收支ノ均衡ヲ保ツガ如キ歲計ハ、現狀ニ於テ萬已ムヲ得ザル次第トハ申シナガラ、決シテ國民ヲシテ安堵セシムル所以デハアリマセヌカラ、速ニ適切ナル方策ヲ講ジ、其患ヲ除カレムコトヲ希望スル所デゴザイマス、尙ホ又近來我ガ國民中、主義ノ何タルヲ問ハズ、矯激ナル思想ヲ懷キマシテ、國憲ヲ紊リ、安寧秩序ヲ壞リ、甚シキニ至リマシテハ、國體ヲ否認セムトスル者ノ輩出スルヲ見ルニ至リマシタノハ、誠ニ憂慮スベキコトト存ズルノデゴザイマス、之ニ對シマシテハ一面國法ノ運用ヲ嚴ニスルト共ニ、他面我ガ帝國ノ歷史及民俗ニ則リマシテ、時勢ノ進運ニ應ジ文物制度ヲ刷新シ、國民敎養、社會敎化ニ意ヲ注ギ、以テ國民精神ヲ作興シ、健全ナル思想ヲ啓發スルコトハ、最モ急務デアルト信ズルノデゴザイマス、此重大ナル時局ニ方リマシテ、國政樞理ノ大任ヲ負フテ居ラレマスル總理大臣ヲ始メ各閣僚ハ、日夜潛心焦慮、國務ニ盡瘁セラレテ居ルコトト信ジマスルガ、此際外交竝ニ內政ニ一段ノ御努力ヲ盡サレ、以テ國運ノ進展ヲ期セラレムコトヲ切望スル次第デアリマス（拍手）

〔國務大臣子爵齋藤實君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（子爵齋藤實君）　決議案ノ御趣旨ハ、政府ニ於キマシテモ御同感デアリマス、將來一層努力イタシマシテ、御期待ニ副ハムコトヲ期シマスル次第デアリマス

○議長（公爵德川家達君）　別ニ發言モナイト認メマスカラ、決議案ニ付テ採擇ヲ致シマス、決議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔總員起立〕

○議長（公爵德川家達君）　全會一致ト認メマス

○議長（公爵德川家達君）　醫師法中改正法律案、政府提出、衆議院回付、會議、內務大臣山本男爵

醫師法中改正法律案

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

昭和八年三月二十三日

衆議院議長　秋田　清

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院回付案ト本院ヨリ同院ニ送付シタル案ト比照シ衆議院ノ修正ニ係ル部分ノミヲ印刷シ其ノ修正ナキ部分ハ印刷ヲ略ス小字及――ハ衆議院ノ修正ナリ

醫師法中改正法律案

第四條ノ二　醫師ニ非ザレバ診療所ヲ開設シ又ハ診療所ノ開設、構造、設備及管理ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

スルコトヲ得ズ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

診療所ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（男爵山本達雄君）　只今議題ト相成リマシタ醫師法中改正法案ニ付キマシテ、政府ノ意思ハ、政府ハ衆議院ノ修正ニ對シマシテ同意ヲスルコトガ出來マセヌノデアリマス、ソレ故ニ其理由ヲ概略申上ゲマス、醫業ヲ爲スコトハ醫師ノ專權ニ屬スベキコトハ勿論デアリマスガ、醫業ヲ爲ス場所、卽チ診療所ヲ開設シ、之ヲ經營スルコトハ醫師ノ專權ニ屬セシムベキ理由ハ毫モナイノデアリマス、現在公共團體、公益法人其他ノ團體又ハ個人ノ經營スル診療所ガ相當數ニ上ボッテ居リマスガ、將來モ是等ノ診療所ト開業醫ト相俟ッテ初メテ醫療

機關ノ整備ヲ期シ得ルト思フノデアリマシテ、修正案ノ如ク醫師以外ノ者ノ經營スル診療所ノ開設ハ、唯例外的ニ認メムトスルガ如キハ此趣旨ニ悖リ、醫療ノ普及ヲ阻止スル虞ガ極メテ多イト考ヘルノデアリマス、殊ニ醫師法ト全然同文同種ノ齒科醫師法ハ何等ノ修正ヲ受ケルコトモナク兩院ヲ通過シテ居ルノデアリマス、醫師法ニ於テ是ト趣旨相容レザル修正ヲ加フルガ如キハ、何等ノ理由ナキコトデアリ、政府トシテハ飽クマデ貴族院ニ於テ御同意ヲ得タル原案ヲ主張スルノデアリマス、衆議院ヨリ回付ノ修正案ニ對シマシテハ、何トシテモ同意スルコトガ出來ナイノデアリマス、以上簡單ニ共理由ヲ申上ゲマス

○議長（公爵德川家達君）　採決ヲ致シマス、衆議院回付案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

（起立者無シ）

○議長（公爵德川家達君）　起立者ナシト認メマス、故ニ衆議院ノ回付案ニ同意ヲ表セザルコトニ相成リマシタ

○議長（公爵德川家達君）　就キマシテハ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ求メネバナリマセヌ、而シテ兩院協議會ノ委員ヲ議院法第五十六條ニ依リマシテ選擧セネバナリマセヌ、御異議ガナケレバ此際議事日程ヲ追加シテ兩院協議會ノ委員ノ選擧ニ移リタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵德川家達君）　御異議ナイト認メマス

○子爵池田政時君　兩院協議會ニ出席スベキ本院ノ委員ノ數ハ之ヲ十名トシ、其指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出イタシマス

○子爵西大路吉光君　贊成

○子爵清岡長言君　贊成

○議長（公爵德川家達君）　池田子爵ノ兩院協議會ノ委員ノ數ヲ十名ト爲シ、其委員ノ選擧ハ議長ニ一任スルト云フ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

（起立者多數）

○議長（公爵德川家達君）　過半數ト認メマス、委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

（小林書記官朗讀）

醫師法中改正法律案兩院協議委員

侯爵細川　護立君　子爵青木　信光君
子爵岡部　長景君　佐藤　三吉君
男爵稻田　昌植君　男爵佐藤達次郎君
阪本釤之助君　次田大三郎君
金杉英五郎君　濱口儀兵衞君

○議長（公爵德川家達君）　鐵道敷設法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是ニハ日程第七迄ノ議案ガ併託イタサレマシタカラ、委員長ノ報告ハ一括シテ煩ハシタイト考ヘマス、特別委員長一條公爵ノ登壇ヲ望ミマス

鐵道敷設法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和八年三月二十二日

委員長　公爵一條　實孝

貴族院議長公爵德川家達殿

帝國鐵道會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和八年三月二十二日

委員長　公爵一條　實孝

貴族院議長公爵德川家達殿

地方鐵道補助法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和八年三月二十二日

委員長　公爵一條　實孝

貴族院議長公爵德川家達殿

兩備鐵道株式會社所屬鐵道外四鐵道及兼業ニ屬スル資產買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和八年三月二十二日

委員長　公爵一條　實孝

貴族院議長公爵德川家達殿

富山鐵道株式會社所屬鐵道中堀川新笹津間經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和八年三月二十二日

委員長　公爵一條　實孝

貴族院議長公爵德川家達殿

○公爵一條實孝君　只今日程ニ上ボリマシタル、鐵道敷設法中改正法律案外五件ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ハ、去ル八日正副委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ以來、殆ド連日ニ亙リ、十數回委員會ヲ開キマシテ、各員ヨリ極メテ精細ナル質疑應答ガ重ネラレマシテ、二十二日ニ至ッテ、決定ヲ見タ次第デアリマス、其詳細ニ付キマシテハ、既ニ御手許ニ配付サレマシタル速記錄ニ依リ御承知ヲ願フコトニ致シタイト存ジマス、此處デハ極メテ簡單ニ、其一二ヲ摘出シテ御報告ヲ申上ゲタイト存ジマス、第一ニ鐵道敷設法中改正法律案ニ付テ、御說明ヲ申上ゲマスルト、是ハ鐵道敷設法ノ別表ニ今回三ツノ線ヲ追加シテ、何レモ昭和八年度ヨリ工事ニ著手スルモノデアリマス、是ニ付キマシテ最モ多ク質疑ヲ重ネラレマシタモノハ、其中ノ一線タル、愛媛縣卯之町ヨリ吉田ヲ經テ宇和島ニ達スルト云フ線ニ付テデアリマス、

是ハ所謂百三號ト申ス線デゴザイマシテ、其外ニ第百四號線ト云フノガ、同ジク共附近ニアルノデアリマスルガ、何故ニ第百四號線ヲ止メテ第百三號線ヲ此際ヤルノカト、斯ウ云フヤウナコトニ付テ多數ノ委員カラ御質疑ガアッタノデアリマス、ソレニ付テ政府當局ハ所謂百三號線、即チ大洲、八幡濱、卯之町ヲ經テ宇和島ノ線、是ハ鐵道當局ハ固ヨリ地方ニ於テモ最初カラ希望シテ居ッタ線デアルンデアッタガ、其途中ニ急勾配ナ所ガアッテ、其當時ノ技術上カラ言ッテモ、又運搬ノ能力ヲ多大ニ要スルト考ヘテ居ッタ當時ニ於テハ、ドウシテモ其望ム所ノ線ヲ敷クコトガ出來ナカッタ、已ムヲ得ズ百四號線ト云フ山間ヲ通ル所ノ線ヲ選ンダ、所ガ段々研究ノ結果、今日ノ狀態ニ於テハ輸送力モ左ホド大キナモノガ要ラナイト云フコトニナリ、輕便式デヤルト云フトトデアルナラバ又「トンネル」……イヤ間違ヒマシタ、急勾配ノ點モ技術上出來ルヤウナ狀態ニナッタカラ、ソコデ最初ノ希望シタ通リノ線路ニスルノデアル、斯樣ナ御答ガアッタノデアリマス、更ニ今マデ十數年間、モウ出來ルカ出來ルカト言ッテ待ッテ居ッタ所ノ百四號線ノ方ニ對シテハ、鐵道省ノ自動車ヲ經營シテ、サウシテ不滿足ナガラ此地方ノ人ニハ氣ノ毒デアルガ、サウ云フ方法ヲ執ルノデアル、斯ウ云フ御答デアッタノデアリマス、又或委員カラハ今回鐵道敷設法ヲ改メテ新ラシク三本ノ線ヲ加ヘ、直グソレヲ實施スル、從來敷設法デ定マッテ居ッタ幾多ノ線路ガアルノニ、ソレヲ止メテ斯ウ云フモノヲヤルト云フコトハ均衡ヲ失ヒハセヌカ、一體敷設法ト云フモノハ何ノ爲ニ出來テ居ルノカト云フヤウナ御質問ガアリマシタ、ソレニ對シテ當局ハ敷設法制定當時ト今日ハ非常ニ鐵道ノ財政狀態ガ違ッテ參リマシタ、每年鐵道ノ收入ガ殖エツツアッタ時代ニ於テハ國家的見地カラスルモ、亦地方ノ開發上カラスルモ、其必要ガアリ又其線路ガ出來ルモノト考ヘテ居ッタ、所ガ今日ノ狀態デハ敷設法ノ線デモ將來果シテ鐵道ヲ敷設スルコトガ出來ナイモノモ澤山出テ來ハシナイカト疑ハレル、又自動車ノ發達ニ依リマシテ、豫定線ヲ永久ニ自動車ニ代ラシメルト云フヤウナコトニナリハシナイカト思フ、故ニ事情已ムヲ得ズ附加ヘル必要ガアルモノヲ加ヘテ、直ニ著手スルト云フコトガ、最モ適切ニ思フガ故ニ行ッタノデアルト、斯樣ナ御答デアリマシタ、其他路線選擇ニ關スル當局ノ根本方針如何ト云フヤウナ問題ニ付テ、可ナリノ質疑ガ重ネラレタノデアリマスルガ、其點ハ此處デ御報告申上ゲルコトヲ省略イタシマス、次ニ帝國鐵道會計法中改正法律案ニ付キマシテ御說明ヲ申上ゲマス、是ハ自動車ノ交通事業ハ交通網ノ整備上、地方開發、產業助長ニ資スルモノガ大ナルモノアリト考ヘ、帝國鐵道事業ニ關聯スル自動車交通事業ニ付テ共促進ヲ圖ルコトトシタ結果、鐵道附帶業務ノ範圍ヲ超エタ爲ニ會計法ノ改正ヲ必要トスルノデ出シタモノデアルト云フ政府ノ御說明デアッタノデアリマスルガ、此條項ニ付テノ質疑ハ寧ロ少クアリマシテ、自動車ノ營業線ト云フモノノ選擇方針ト云フヤウナコトニ付テ、或委員カラ質疑ガアリマシタニ對シ當局ハ、第一ニ路線ノ豫算ガ計上シテアッタモノヲ、一先ヅ打切ッタト云フヤウナ所ハ自動車ヲ動カス線ニ選定スル、第二ハ豫定線ノ中ニアッテ豫算ニ計上サレテナクテモ、自動車ノ經營ヲスルニ都合ガ宜イト云フヤウナ所ハ自動車デヤル、第三ニ豫定線モナク豫算ニモナクトモ、自動車經營ガ鐵道經濟トシテ都合ノ宜イモノニハヤル、今申シタ中デシッカリシタ民營ノ自動車經營ガアレバ必シモ政府ガヤラナクテモ宜イ、第四ニ運輸系統上省線ト省線ヲ結ビ付ケル必要ノ所ヲヤル、斯樣ナ自動車ノ選擇路線ニ對スル根本方針ノ御答ヘガアッタノデアリマス、更ニ一委員ヨリ鐵道本來ノ使命カラ言ッテ、專用道路デモ造ッテ省營自動車ヲヤル意思ハナイカ、利益ノ擧ガルヤウナ所ハ民間ニヤラシテ置イテ、民間ノ力ノ及バナイヤウナ所ヲ政府ガヤルト云フヤウナコトガ寧ロ適當デアルノデハナイカト云フ御問ヒニ對シマシテ、政府當局ハ只今ハ專用道路ヲ造ッテヤルヤウナ計畫ハナイ、又國營ノ鐵道ハ特別會計デアッテ、ソレ自身ノ收支ニ依ッテ經營シテ行カナケレバナラナイノデアルカラ、今日ノ如ク非常ニ收益ガ少クナッテ、固定資本ニ對シ僅ニ四分一厘シカナイト云フヤウナ現狀デハ、或特殊ナモノハ算盤勘定ニ構ハズヤルコトガアルガ、全體トシテハ餘程考慮シナイト鐵道經濟ヲ破壞スルヤウナコトニナル虞ガアルト云フノデ、自動車經營モ引合ッタモノカラヤッテ行ク方針ダト云フ意味ノ御答ガアッタノデアリマス、又或一委員ヨリハ現ニ民營デヤッテ居ル所ノ自動車ノアル所デ、省營ノ自動車ヲ動カサレレバ所謂民業壓迫ノ虞ガアルデヤナイカ、或ハソレニ關聯シテ共附近ノ鐵道軌道ニモ重大ナル影響ヲ與ヘルヤウナ時ニハドウスルノカ、既ニ此コトニ付テハ先般、曩キノ議會ニ於キマシテ、自動車交通事業法案ヲ貴族院デ可決シタ際ニ希望決議モアルコトデアルカラ其點ハドウカト、斯ウ云フコト等ニ付テノ質疑ガアリマシタニ對シ、當局ハ自動車ダケデ民間ノ自動車ヲ壓迫スル嫌ヒノアルモノハ、之ニ相當ナ見舞金ト云フカ、淚金ト云フヤウナモノヲヤルノダ、唯群小ノ民間自動車デハ地方ノ鐵道ノ見地カラ言ッテ不十分ト認メルモノ、又ハ運輸系統上ヨリ見テソレ等ニ任シテ置ケヌト云フヤウナ所ハ國營デスル、尙ホ附近ノ鐵道軌道等ニ對シ相當大キナ損害ヲ與ヘル時ニハ、貴族院ノ希望決議モアルコトデアルカラ、ソレヲ尊重シテ頻リト之ヲ研究シテ居ルノデアル、斯樣ナ御答ヘガアッタノデアリマス、尙ホ此自動車交通事業法ニ付キマシテハ、色ミ質疑應答ガアリマシタガ、當局ハ十分ニ之ヲ尊重シテ居ルト云フ御答ヘデアリマシタ、尙ホ一委員ヨリハ、自動車經營ヲ本格的ニヤルナラバ、自動車ノ經營ノ根本法律タル自

動車交通事業法ヲ直ニ、成ルベク速ニ實施セラルルコトガ適當デハナイカト云フコトノ問ヒニ對シテ、當局ハ出來ルダケ早ク實施シタイト云フ考ヲ有ッテ居ル、斯様ナ問答ガアッタノデアリマス、其他ニ付キマシテハ是亦多岐ニ亙ッテ各線路等ニ付テノ細カイ御質疑ガアタノデアリマスルカラ、何レモ速記錄ニ依リ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、第三ガ帝國鐵道會計法中ノ……イヤ間違ヒマシタ、第三ガ地方鐵道補助法中改正法律案ニ付キマシテ御說明ヲ申上ゲマス、此趣旨ハ現在地方鐵道ノ益金ト合セテ年七分ノ利廻ニ達スル迄ノ補助ヲ與ヘテ居ッタモノヲ、今回改メテ年六分ニスル、補助金ノ總額ノ七百五十萬圓ヲ五十萬圓減ラシテ七百萬圓ニスルト、斯様ナ御提案デアッタノデアリマス、之ニ對シテ色ミ各委員カラ質疑ヲ重ネラレタノデアリマスルガ、補助額ノ減少ノ結果、現在地方鐵道ハ隨分困ッテ居ルノデアル、此困ッテ居ル所ヘ補助額ヲ減少セラレ、多少デモ利益ノアル會社ハソレデモ宜イカモ知レヌガ、利益ノマルデナイ所謂赤字ニナッテ居ルヤウナ所ハ誠ニ氣ノ毒ノコトニナルノデヤナイカト云フヤウナ幾多ノ御質疑ガアリマシタ、併シ之ニ對シテハ政府ノ御答ヘハ鐵道省ソレ自體ガ先カラ段々言フ通リ、經營ガ非常ナ困難ニナッテ居ルノデアリ、內部ノ緊縮ト共ニ矢張リ地方ノ鐵道ニ對スル補助額モ相當減額シナケレバナラナイ、斯ウ云フヤウナ意味ノ御答ヘガアッタノデアリマス、多クノ委員ヨリ兎モ角モ此地方鐵道ト云フモノハ折角育テタノデアル、ソレヲ段々ト潰レテ行クガ儘ニ委スト云フヤウナコトハ、是ハ宜クナイデヤナイカ、何トカ相當ナコトガ出來ルヤウナ時ニナッタラバ、相當ナコトヲシテヤッタラドウカ、斯様ナ意味ノ御質疑應答ガ繰返サレタノデアリマス、其他ノ詳細ナコトハ、是亦速記錄ニ依ッテ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、次ハ兩備鐵道株式會社所屬鐵道外四鐵道及兼業ニ屬スル資產買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、之ニ付テ御說明ヲ申上ゲマス、是ハ買收イタシマスモノガ、第一、藝備鐵道株式會社所屬鐵道中十日市備後庄原間、第二、阿波鐵道株式會社所屬鐵道及兼業ニ係ル連絡船運送業ニ屬スル資產、第三、愛媛鐵道株式會社所屬鐵道、第四、宇和島鐵道株式會社所屬鐵道、此買收法案デアリマス、最初ニ申上ゲルノガ拔ケマシタ、第五ト致シマシテ、兩備鐵道株式會社所屬鐵道中兩備福山府中町間、此五ツデアリマス、是ノ買收法案デアリマス、之ニ付キマシテハ、主トシテ質疑ノ問題ニナリマシタノハ宇和島鐵道ノ買收デアリマス、何モ宇和島鐵道ノ如キモノハ、其附近デ工事ヲ起スノデアルガ、百三號線ノ出來上ガルマデニ買ヘバ宜イノデ、今年買フ必要ハナイデヤナイカト云フヤウナ御質問ニ對シマシテ、當局ハ運輸系統上カラ見テ澤山財源ガアルナラバ買ヒタイ所ノ線ガアルノデアルケレドモ、今度ハソレヲ見合セテ、差當リ建設工事ヲ進メテ行ク上ニ已ムヲ得ヌト云フ所ニ局限シテ、實ハ斯ウ云フ所ヲ買フノダト云フヤウナ御說明デアリマシタ、其他委細ノ說明ガアッタノデアリマス、之ニ付キマシテハ是亦詳細ナコトハ此處ニ省カシテ戴キタイト存ジマス、尙ホ一委員ヨリハ買收價格ノ定メ方ガ、今回買フヤウナコトニ將來一定ノ尺度ヲ有ツト云フコトハ、實價ニ近イモノデ買收スルト云フコトニ累ヲ及ボスヤウニナリハシナイカト云フコトニ付テ、十分研究ヲシテ貰ヒタイト云フヤウナ御話モ出タノデアリマス、次ハ富山鐵道株式會社所屬鐵道中堀川新笹津間經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案ニ付テ御說明申上ゲマス、是ハ富山鐵道ハ富山驛カラ笹津驛ニ至ル地方鐵道デアリマシテ、其鐵道ガ、私設鐵道ガアルニモ拘ラズ、飛彈ノ方カラ富山ニ向ッテノ連絡ヲ、營テ鐵道省ガ殆ド竝行線トモ云フベキモノヲ造ラレタノデアリマシテ、其省線ノ影響ヲ受ケテ、最早其鐵道、富山鐵道ハ經營ガ出來ナイト云フコトデ、之ニ補償ヲ與ヘルト云フコトニナリ、其額面ハ七十七萬三千百五十圓ヲ限ッテ公債ヲ發行スルト云フモノデアリマス、之ニ付キマシテ委員ノ多クヨリ頗ル此會社ニ對シ同情アル御質疑ガ重ネラレマシタ、一委員ノ言葉ヲ御紹介申上ゲマスレバ、富山鐵道ノ問題、是ハ全ク國家ノ官吏ガ惡イノダ、地方ノ人ガ運動スルコトハ已ムヲ得ナイト致シテモ、斯様ナ鐵道ヲ設計スルト云フコトハ國家ニ責任ガアルノダ、此鐵道ニ對シテハ十二分ニ賠償ヲスベキガ正當デアル、現在ノ政府ノヤウナ政府ガ此賠償ヲ爲ス局ニ當ルノデアルカラ、尙更ラ從來國家ノ罪ヲ償フニ十分ナル賠償ヲセネバナラヌト云フヤウナ御議論ヲ交ゼタ御質疑ガアッタノデアリマス、ソレニ依ッテ如何ニ此富山鐵道ノ買收ト云フコトガ已ムヲ得ザル氣ノ毒ナモノデアルト云フヤウナコトハ御諒承願ヘルト存ジマス、其次ハ樺太地方鐵道補助法中改正法律案ニ付テ御說明ヲ申上ゲマス、是ハ樺太ノ地方鐵道ノ補助法中ニ十年ノ期限ヲ附ケテ補助期間トシテアリマスノヲ、之ヲ五箇年延バシテ十五箇年ニスル、斯様ナ案デアリマス、之ニ對スル質疑應答ハ極メテ簡單デアリマシテ、或一委員ヨリハ、隨分此樺太ノ地方鐵道ノ經營ガ放漫ト云フヤウナ點ガアリハシナイカト云フヤウナコトヲ御質疑ニナリマシタニ對シテ、政府當局ハ十分ニ監督ヲ是カラモスルノダト云フヤウナ御話ガアリマシタノデアリマス、以上デ各案ニ付キマシテノ極メテ概要ノ御話ハ申上ゲタノデアリマスルガ、玆ニ地方鐵道補助法中改正法律案ニ關聯イタシマシテ、チョット皆樣ノ御耳ニ入レテ置キタイコトガアルノデアリマス、ソレハ今回ノ地方鐵道補助法中ノ改正ニ伴ッテ、北海道ノ地方鐵道竝ニ軌道ノ補助金ニ關シテ、或委員カラ御尋ネガアッタノデアリマスルガ、其御尋ネハ今度鐵道ノ方デ一部ノ補助金ノ減額ヲスルカラ、北海道ノ方モドウカスルノカ、斯ウ云フコトデアッタ、所ガ北海道ノ拓殖費ノ方カラ出マス補助デアリ

マスガ、是モ一部ノ補助費ノ減額ヲスル意思ガアルノダ、斯様ナ答ヘガアリマシタノデ、委員ノ一員カラ鐵道省ノ方デモ餘裕ガ出來ルヤウニナッタナラバ、相當又一般ニ補助ノ行渡ルヤウニスルノデアルカラ、拓殖費ノ方ノ餘裕ガアルヤウナ時ニナッタナラバ、十分ニ補助デ行クヤウナ風ニシタイ、斯様ナ應答ガアッタノデアリマス、二十二日ニ至リマシテ討議ヲ致シマシタ所ガ、各問題ニ付テ相當ニ討議サレタノデアリマス、最初ニ鐵道敷設法中改正法律案ニ付テノ討議ノ極ク概要ヲ申シマスト、政府ハ今回鐵道敷設法中ニ急ニ三線ヲ追加シテ、ソレヲ直ニ實行スルト云フヤウナコトヲヤルト、今マデノ鐵道ノ豫定線ニナッテ居ッタノヲ、或ハサウ云フモノニ對シテ非常ニ斯ウソレヲ無視スルヤウナコトニナルノデヤナイカト云フヤウナコトノ論議ガ出マシタ、結局現在ノ敷設法豫定線ト云フモノヲ改竄整理シテ、サウシテ權威アラシメル法律ニシタ方ガ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ風ナ御議論ガアリマシタ結果、希望決議ト致シマシテ、今讀上ゲマスヤウナモノガ提案セラレタノデアリマス

鐵道敷設法制定以來十餘年ヲ經過シ其ノ間自動車ノ發達其ノ他ニ依リ地方ノ交通狀態變化セリ政府ハ宜シク是等ノ趨勢ト國有鐵道經營ノ將來トヲ考慮シ豫定鐵道線路ヲ根本ヨリ整理シ改正セラレムコトヲ望ム

斯様ナ希望決議ヲ提案セラレマシテ、是ハ委員會デ全會一致決議ニナリマシタ、ソレニ對シテ鐵道大臣ヨリハ御希望ノ點ハ御尤モト考ヘマスガ、併シ餘程實行ニ付キマシテハ序ヲ踏ンデヤラナケレバナラヌト思ヒマス、十分ニ考究調査ヲ致シマシテ、御希望ニ副フコトニ努メマス、斯様ナ御答ヘガアッタノデアリマス、次ニ帝國鐵道會計法中改正法律案ニ付キマシテ討議ヲ致シマシタ所ガ、ソレニ對シマシテ一委員ヨリハ斯ウ云フ希望決議ヲ附ケラレマシタ

（副議長公爵近衞文麿君議長席ニ著ク）

政府ハ國ニ於テ自動車運輸事業ヲ經營シタル爲既存ノ地方鐵道及軌道ニ損害ヲ與フル場合ニ於テハ曩ニ第五十九議會ノ自動車交通事業法案ニ對スル本院ノ希望決議ノ主旨ニ從ヒ適當ナル方途ヲ樹テ尚同法律ヲ急速ニ施行セラレムコトヲ望ム之ニ付テ少シク註釋ヲ加ヘテ置キマスルガ、自動車ノ省營ノ爲ニ自動車ガ損害ヲ受ケタト云フヤウナコトニ付テハ、十分ニ考慮ヲシナケレバナラヌ、地方鐵道或ハ軌道ニ損害ヲ與フル場合ニ於テモ、相當ニ考慮、補償ト云フヤウナコトヲセニヤナラヌト云フ意味ト、ソレカラ先程モ御報告申上ゲマシタヤウニ、自動車交通事業法案ト云フモノガ、本格的ニ自動車ノ省營ヲ爲サルニ拘ラズ、ソレガマダ實行セラレナイ、斯ウ云フヤウナコトニ付テ注意セラレタノデアリマス、之ニ付キマシテノ此希望決議モ、委員會ニ於テ全會一致デ可決ニナリマシタ、之ニ對スル政府當局ノ御答ハ、只今ノ希望決議ニ付キマシテハ、政府ハ其趣旨ノ存スル所ヲ十分諒ト致シマシテ、之ヲ尊重イタシマスト云フ御答ガアリマシタ、次ニ地方鐵道補助法中改正法律案ニ付キマシテハ、十分ニ考究調査ヲ致シマシテ、御希望ニ副フコトニ努メマス、斯様ナ御答ヘガアッタノデアリマス、次ニ帝國鐵道會計法中改正法律案ニ付キマシテ討議ヲ致シマシタ所ガ、ソレニ對シマシテ一委員ヨリハ斯ウ云フ希望決議ヲ附ケラレマシタ

（副議長公爵近衞文麿君議長席ニ著ク）

政府ハ國ニ於テ自動車運輸事業ヲ經營シタル爲既存ノ地方鐵道及軌道ニ損害ヲ與フル場合ニ於テハ曩ニ第五十九議會ノ自動車交通事業法案ニ對スル本院ノ希望決議ノ主旨ニ從ヒ適當ナル方途ヲ樹テ尚同法律ヲ急速ニ施行セラレムコトヲ望ム之ニ付テ少シク註釋ヲ加ヘテ置キマスルガ、自動車ノ省營ノ爲ニ自動車ガ損害ヲ受ケタト云フヤウナコトニ付テハ、十分ニ考慮ヲシナケレバナラヌ、地方鐵道或ハ軌道ニ損害ヲ與フル場合ニ於テモ、相當ニ考慮、補償ト云フヤウナコトヲセニヤナラヌト云フ意味ト、ソレカラ先程モ御報告申上ゲマシタヤウニ、自動車交通事業法案ト云フモノガ、本格的ニ自動車ノ省營ヲ爲サルニ拘ラズ、ソレガマダ實行セラレナイ、斯ウ云フヤウナコトニ付テ注意セラレタノデアリマス、之ニ付キマシテノ此希望決議モ、委員會ニ於テ全會一致デ可決ニナリマシタ、之ニ對スル政府當局ノ御答ハ、只今ノ希望決議ニ付キマシテハ、政府ハ其趣旨ノ存スル所ヲ十分諒ト致シマシテ、之ヲ尊重イタシマスト云フ御答ガアリマシタ、次ニ地方鐵道補助法中改正法律案ニ付キマシテハ、十分ニ考究調査ヲ致シマシテ、御希望ニ副フコトニ努メマス、斯様ナ御答ヘガアッタノデアリマス、次ニ帝國鐵道會計法中改正法律案ニ付キマシテ討議ヲ致シマシタ所ガ、ソレニ對シマシテ一委員ヨリハ斯ウ云フ希望決議ヲ附ケラレマシタ

（副議長公爵近衞文麿君議長席ニ著ク）

政府ハ國ニ於テ自動車運輸事業ヲ經營シタル爲既存ノ地方鐵道及軌道ニ損害ヲ與フル場合ニ於テハ曩ニ第五十九議會ノ自動車交通事業法案ニ對スル本院ノ希望決議ノ主旨ニ從ヒ適當ナル方途ヲ樹テ尚同法律ヲ急速ニ施行セラレムコトヲ望ム

二ノコトニ付キマシテハ、無論近永吉野間ノ改築ハ引續イテヤラヌケレバナラヌト考ヘマス、此點モ御希望ノ通リニ致スコトニ努メマス、斯様ナ御答デアッタノデアリマス、採決ヲ致シマシタ結果、此鐵道敷設法中改正法律案外五件ノ法律案ハ以上述ベマシタヤウナ希望決議ヲ附シマシテ、政府原案通リ可決スルコトニ相成ッタ次第デゴザイマス、之ヲ以テ報告ヲ終リマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　只今一條委員長ハ六案ヲ一括シテ報告セラレマシタガ、採決ハ諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、第二ヨリ第四マデト、第五ヨリ第七マデト別ニ致シタイト存ジマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　鐵道敷設法中改正法律案外二案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君　直ニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　贊成

○副議長（公爵近衛文麿君）　西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君　直ニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　贊成

○副議長（公爵近衛文麿君）　西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君　直ニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　贊成

○副議長（公爵近衛文麿君）　西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　三案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ若アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君　直ニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　贊成

○副議長（公爵近衛文麿君）　西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　全部第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　日程第八、恩給法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、溝口伯爵

恩給法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和八年三月二十三日

委員長　伯爵溝口直亮

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵溝口直亮君演壇ニ登ル〕

○伯爵溝口直亮君　本委員會ハ去ル三月十一日ニ委員長及副委員長ノ互選ヲ致シテ、私ガ委員長、男爵井上清純君ガ副委員長ニ當選イタシマシタ、直ニ會議ヲ開キマシテ、政府委員ノ説明ヲ聽取イタシマシタ、爾後七回ニ亙リマシテ會議ヲ開キ質疑ヲ致シマシテ、昨二十三日ノ會議ニ於テ討議ヲ行ヒ多數ヲ以テ原案ヲ可決イタシマシタ、是ヨリ重要ナル質疑ノ要領及討議ノ大要ヲ報告イタシマス、何卒其詳細ニ付テハ速記錄ニ付キマシテ御承知ヲ願ヒマス、本改正案ノ要點ヲ要約イタシマスレバ左ノ數點ニ歸スト考ヘマス、ソレハ第一ニ恩給年限ノ延長ト一時恩給及一時扶助料ニ最短年限ヲ置クコトニ致シタコトデ、恩給年限ノ延長ハ原則ト致シテ二年、特殊ノモノニ付テハ一年ノ延長デアリマシテ、一時恩給及一時扶助料ニ付テハ從來ハ一年ニナリマスレバ支給サレマシタノヲ、連續在職年限三年以上ノ者ニ支給スルト云フコトニ改メラレタノデアリマス、第二ハ受給者ノ年齡ニ依ル停止及多額所得者ノ恩給停止デアリマシテ、是ハ受給者ノ年齡三十五歳未滿ノ者ニ付テハ六分ノ一、四十歳未滿ノ者ニ付テハ八分ノ一ヲ停止スルコトニ致シマシタ、又多額所得者ノ恩給停止ハ、恩給以外ノ所得ガ年額五千圓以上ヲ有シ且ツ恩給總額年額千圓以

上ヲ有スル者ニ付テハ、兩者合計六千圓ヲ超エル金額ノ二割ニ當ルモノデ、且ツ其停止額ハ恩給ノ支給年額ガ千圓ヲ降ルコトノナイヤウニ、尚ホ恩給年額ノ二割以上ニナラヌダケノ額ヲ停止スルコトニ改正サレマシタノデアリマス、第三ハ個人納金ノ新設及增額デアリマシテ、既ニ納金制度ノアル者ニ付テハ更ニ百分ノ一ヲ增額納付セシメ、其制度ナキ者ニ付テハ新タニ俸給ノ百分ノ一ヲ納金セシメル規定ヲ設ケラレマシタノデアリマス、但シ此規定ハ各個人ニ付テ昇給シタ時カラ實行スルト云フコトニ定メラレ、又兵卒ニハ此規定ヲ及ボサナイコトニナッテ居リマス、以上ノ三點ノ改正ヲ主トシ、其他種々ノ修正ニ依リマシテソレガ財政ニ及ボス影響ハ、本改正案ヲ實施後四年目ニハ約七百萬圓ノ減少ヲ見マシテ、平年ト看做スベキ十五年後ニハ約一千五十萬圓ノ減少ヲ見ルコトニナリマス、第四ハ低位ノ傷痍恩給ノ制定竝ニ特殊扶助料ノ增額デアリマシテ、現在ノ傷痍賜金ヲ給セラレル程度ノ傷病者中永續性ヲ有スル者ニ對シマシテハ、新タニ傷病年金ヲ制定セラレ、又公務ニ基因シテ死亡シタ者及增加恩給受給者ノ遺族扶助料ニ對シマシテハ、死亡ノ時ヨリ五箇年間扶助料ノ十分ノ三ヲ加給スルト云フ改正デアリマス、本改正ハ恩給增額ニナリマシテ是ハ四年後ニハ年額約百八十萬圓ヲ增加シ、十五箇年ニ於テハ百十八萬圓ヲ增加支給スル豫想デアリマス、以上ノ外色ミナ改正ガ行ハレマスガ一々是ハ申シマセヌカラシテ、何卒案文及速記錄等ヲ御參照ニナリマシテ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、以上ノ改正ニ依リマシテ恩給總額ノ減少ハドウデアルカト云フコトヲ政府ノ答辯ニ依リマシテ申上ゲマスト、改正法實施後約四年目ニハ約五百二十萬圓ヲ減少シ、十年後ニハ六百八十五萬圓ヲ、平年ト看做サルベキ十五箇年後ニハ約九百二十七萬圓ヲ減少スルコトニナリマシテ、現今此恩給ハ年々增加イタシツツアリマスノデ、其增加率ハ約三四百萬圓デゴザイマス、本改正ヲ行ヒマス場合ニハ約十年後ニ於テモ、現今恩給トシテ支給サレマス一億三千萬圓ニ比シテ約五百萬圓ノ增加デ喰止メルコトガ出來ル豫想デアリマスガ、若シ本改正ヲ實施シナイ場合ニハ、今ヨリ十年後ニハ恩給總額約一億八千三百萬圓トナリマシテ、現今ノ額ヨリモ約八千三百萬圓バカリ增加スル豫想デアリマス、卽チ本改正案ハ之ニ依ッテ大體恩給增加ノ趨勢ヲ喰止メルコトガ出來ルデアラウト云フ豫想カラシテ……豫想ニナッテ居リマス、以下逐次主要ナ質疑ノ要點ニ付テ申上ゲマス、第一恩給ヲ何ト見ルカト云フ質疑デゴザイマシテ、政府ハ之ニ對シテ元來官吏、軍人等ハ其職ニ在ル間ハ一意專心一身ヲ捧ゲテ國家ニ御奉公セネバナラヌモノデアリマスルカラシテ、從テ誠心誠意職務ニ努メテ居リマス限リ、自分ノ爲ニモ老後ノ計ヲ爲ス餘裕ハアリマセヌ、從テ國家ハ之ニ酬ユル爲メ且ツ安ンジテ其職ヲ盡ス爲ニ……盡スコトガ出來ルヤウニ、之ニ恩給ヲ給スルト云フ根本ノ見解デアルト云フ御答辯デゴザイマシタ、第二ハ恩給法ノ整理、改正ヲ爲ス前ニ、行財政ノ整理及官吏ノ任免等ノ改善ヲシナケレバナラナイデハナイカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ是等ハ努メテ致サウト考ヘテ居ル所デアリマシテ、現ニ官吏ノ身分保證ノ制度ヲ設ケタヤウナ次第デアリマス、唯何分ニモ廣汎ナ範圍ニ亙リマスモノデアリマスカラシテ、一時ニ之ヲ實行スルコトハ出來マセヌノデ、漸次之ヲ實行シテ行ク考ヘデアリマス、又此恩給法改正ノコトハ、大正十五年以來ノ懸案デアリマシテ、今回此成案ヲ得タ次第デアリマスカラシテ、提出シタ譯デアリマスト云フ答辯デアリマシタ、第三ハ此恩給法ヲ改正スルコトハ今日ノ時期ニ於テ官吏ヤ軍人ノ思想ニ惡影響ヲ及ボス懸念ガアルガ、之ヲ斷行シテモ差支ナイト云フ御見込デアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ今回ノ改正案ハ一方ニ恩給累增ノ不安ヲ除去スルコトヲ心懸クルト共ニ、他方ニハ公務者ノ傷病者ヤ其遺族ナド最モ同情スベキ人ミノ恩給ニ少イナガラモ增額シタイト云フ目的ヲ有ッテ居リマスカラシテ、此改正ニ依リマシテ幾分不利益ヲ受クベキ人ミモ、今日ノ非常ナ時ト云フコトヲ考ヘマシタナラバ、之ヲ甘ンジテ呉レルダラウ、決シテ惡影響ハナイト信ズルト云フ御答辯デアリマシタ、第四ハ官吏ハ長ク在職セシメル其代リ恩給ハ年齡六十歲以上ニナルカ、又ハ本當ノ病氣ニナラナケレバ支給シナイト云フヤウニシテハ如何カト云フ質疑ニ對シマシテ政府ハ、公務員ハ其種類ニ依リマシテサウ長ク在職サセテ置ケナイモノモアリマスシ、又病氣ノ爲メ退職ト申シマシテモ、其實情ノ認定ハ非常ニ困難ガ伴ヒマスカラシテ、此點ハ現行法通リニスルヨリ外ニ方法ハナイト思ッテ居ルト云フ御答辯デアリマシタ、第五ハ、多額所得者ノ恩給ノ停止ハ恩給ノ性質ト矛盾セザルヤト云フ質疑ニ對シ、政府ハ恩給本來ノ性質ト矛盾ハシナイト考ヘルト云フ御答辯デアリマシタ、第六ハ、軍人ハ罷メラレテモ出師準備ヲシナケレバナラナイ、從テ精神及體力ノ保持ニ非常ニ力ヲ盡ス必要ガアルカラシテ、軍人ニ對シテハ恩給上特殊性ガアルカラシテ、本改正ニハ之ニ矛盾シタルヤウナコトハナイカト云フ質疑ニ對シ、政府ハ、軍人ノ特殊性ハ之ヲ十分是認スルシ、且ツ本改正ニ付テハ不十分ナ點ハアルカモ知レナイガ、決シテ矛盾スルモノハナイト考ヘルト云フ御答辯デアリマシタ、第七ハ本改正法ノ施行期日ヲ十一月一日トシタコトハ、納付金ノ增納又ハ新ニ納メルモノニ對シ不權衡ハアリハシナイカト云フ質問ニ對シ、政府ハ文官ノ進級ノ大體同時期ニ行ハレザル限リ、期日ヲ如何ニ定メテモ全ク均等ニナルト云フコトハ不可能デアルカラ、多少ノ不權衡ハ已ムヲ得ナイモノトスルヨリ外仕方ガナイト云フ御答辯デアリマシタ、第八ハ、恩給年限ノ延長及多額所得者

ノ恩給ノ停止ハ既得權ノ侵害ニナリハシナイカト云フ御質疑ニ對シマシテ、政府ハ恩給年限ノ延長ハ、ドウモ既得權ト云フヨリモ、寧ロ斯ウ云フ文字ヲ使フナラバ希望權トデモ言フノデハナカラウカ、ドウモ既得權トハ考ヘラレマセヌ、又多額所得者ノ恩給停止モ必シモ既得權侵害トハ認メルコトハ出來ズ、目下ノ時局、殊ニ國家財政ノ現況ニ鑑ミマスレバ、此改正モ已ムヲ得ナイモノデアルト云フ御答辯デアリマシタ、以上ガ重要ナル質疑ノ要點デアリマシテ、此外ニ尚ホ多クノ質疑應答ガゴザイマシタガ、其詳細ハ只今是ヨリ述ベルコトハ出來マセヌデゴザイマスカラシテ、何卒速記錄ニ付テ御承知ヲ願ヒマス、斯ノ如ク多クノ質疑應答ガゴザイマシタ後ニ、昨二十三日討議ニ入リマシテ、四ツノ修正意見ガ提出サレマシタ、ソレヲ是カラ御紹介イタシマス、第一ハ第五十八條第一項中ニ新ニ加ヘラルベキ三、四ノ二號、卽チ年齡及多額所得者ノ恩給停止ノ規定ヲ削除セムトスルモノデアリマシテ、是ハ年齡ニ依ル停止ハ主トシテ下級軍人ニ關ハルモノデアッテ、目下ノ時局ヲ考ヘレバ、之ヲ改正スル時機デハナイ、又多額所得者ノ恩給停止ハ既得權侵害ト認ムベキモノデアルカラシテ、是ハ削除ヲ至當トスルト云フ理由ニ依ルモノデアリマス、第二ハ第七十五條ノ特殊扶助料ノ增額デアリマス、是ハ先程申上ゲマシタ通リ五箇年間三割ノ增額ヲ給スルト云フ規定ヲ、十年間五割ヲ增加給セントスル改正デアリマシテ、其理由ハ本改正案デハ是等ノモノヲ遇スルノニ尚ホ薄キニ過ギルト云フ理由デゴザイマス、第三ハ附則第一條ヲ修正イタシマシテ、本年十月一日ヨリ施行スルノヲ總テ明年、卽チ昭和九年四月一日ヨリ施行シヤウト云フ改正デゴザイマス、第四ハ前ノト同樣ニ第一條ヲ修正スル案デゴザイマスルガ、是ハ本年十月一日ヨリ施行セラルベキモノノ中デ納付金ノ新設及增納ヲ昭和九年四月一日ヨリ施行セントスルモノデゴザイマス、以上四ツノ修正案ガ何レモ少數ヲ以テ否決セラレマシテ、原案ニ付テ採決イタシマシタ結果、多數ヲ以テ原案ガ可決トナリマシタ、尚ホ本改正法律案可決ニ際シマシテ、左ノ三項ノ希望ヲ決議サレマシタカラシテ、之ヲ朗讀イタシマス

希望決議

一、改正案カ現行法ニ於ケル不公正ナル諸點ヲ整理セントスルハ可ナリ又恩給支給總額年次累增ノ傾向ヲ阻止セントスルハ多少ノ效果アルニ似タリト雖モ姑息ノ手段タルニ止マリ窮極ノ目的ヲ達シ得ヘキモノト信スル能ハス思フニ現行法ハ能ク恩給ノ性質ニ鑑ミ且財政ノ整理ト相待チテ根本的改革ヲ加フルノ要アリ政府ハ他日再度ノ改正ヲ企圖シ今後尙調査ヲ繼續セラレンコトヲ望ム

二、恩給ノ甚シキ增額ヲ來タセル原因ハ官吏ノ任免放漫ニ失セルコト多キニ居ル政府ハ宜シク愼重ニ考慮シ以テ如上ノ弊ヲ阻止スヘキモノト認ム

三、一時賜金傷痍軍人ノ恩給改正竝ニ特殊扶助料ノ增額ニ就キテハ不徹底ノ點アリト認ムルヲ以テ將來速ニ適當ナル改正ヲ行ハレンコトヲ望ム

此外ニ尚ホ委員全般ノ意見トシテ近來法制上條項ノ排列及字句ノ撰定妥當ナラサルモノ多ク本改正案ニ於テ殊ニ甚シキモノアルハ遺憾ニ堪ヘス政府ハ將來此處ニ意ヲ致サレムコトヲ望ム

ト云フコトヲ殊ニ此處ニ於テ表明イタシマス、以上ヲ以チマシテ本改正案ノ委員長トシテ報告ヲ終リマス

○副議長（公爵近衞文麿君）　別ニ御質疑モナイヤウデアリマスカラ、是ヨリ討論ニ入リマス、通告ニ依リ一條公爵ノ發言ヲ許シマス

〔公爵一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公爵一條實孝君　會期切迫ノ折、殊ニ委員長報告ガアリマシタ機會ニ於テ、本議場ニ於テ恩給法中改正法律案ノ特別委員ノ一人ト致シマシタル私ガ、此壇上ニ於テ皆樣ニ申上ゲネバナラヌト云フコトヲ誠ニ遺憾ニ存ジマスル、又御迷惑トハ存ジマスルガドウゾ暫クノ間私ノ申上グルコトヲ御聽取ヲ願ヒタイ、今回ノ恩給法ノ改正ノ趣旨ハ既ニ皆樣御承知デアラセラルル通リ、國費ノ膨脹ヲ一部ハ恩給ニ依ッテ阻止セシメ、又一面ニ於テハ極メテ不公正ナル恩給ノ額ヲ更正シタイ、斯ウ云フコトデアリマシテ、前者ハ減ラスト云フ精神、後者ハ殖ヤストハ云フ精神デアリマスルガ故ニ、當然玆ニ衝突ヲ免レナイノデアリマス、其大波瀾ノ中ニ捲込マレマシタルモノガ、卽チ私ガ是カラ述ベムトスル項目デアルノデアリマス、今回ノ所謂恩給法改正ノ餘澤ヲ蒙リマシタモノハ、低位ノ疾病恩給ノ制定ト、特殊扶助料ノ增額、此二點デアリマス、其他ハ悉ク色ミノ意味ニ於キマシテ減額ヲスルコトニナルノデアリマス、先程委員長ノ御報告ニアリマシタ、總理大臣ノ恩給ニ對スル御觀念ト云フモノハ、先程委員長カラノ御話ノ通リデアリマス、若シ總理ノ御考ノ通リノ恩給ノ觀念、之ヲモット簡單ニ申シマスレバ、恩給トハ何ゾヤ、斯ウ云フ問題ニ對シテ、恩給トハ國家ニ貢獻シタル者ニ對スル國家ノ恩典ナリ、斯樣ニ言ヒ得ルト私ハ思フノデアリマス、然ルニモ拘ラズ先程申上ゲマシタ大波瀾ガアリマシテ、其處ニ落込ミマシタモノガ、所謂幾多ノモノガアリマス中デ、最モ顯著ニ此恩給ノ根本解釋ト申シマスカ、是ニ抵觸ヲスル所ノモノガ、多額所得者ニ對スル恩給停止ノ問題デアルト存ズルノデアリマス、此法案ヲ作ラレタル當事者ノ觀念ヲ忌憚ナク申シマスト、恩給トハ老衰セル者ニ對スル國家ノ救助金ダ、御救ヒ助ケノ金ナリ、斯ウ云フ解釋デアルノデアリマス、是ト總理ノ言明セラレタル所トハ大ナル矛盾ガアルノデアリマス、私ハ自分ガ海軍大佐ト致シテ奉職シタ關係上、若干ノ恩給ヲ頂戴シテ居ルト云フ此事實ニ鑑ミマシテモ、國家ガ軍人ニ對シテ終

身軍服ヲ著セルコトヲ御許シニナリ、終身現官ヲ保有スルコトヲ御許シニナルト共ニ、恩給ト云フモノニ依ッテ國家ガ恩典ヲ御與ヘニナッテ居ルモノト固ク信ズル一人デアリマス、然ルニ國家非常時デアル、財政ガ窮迫シタノデアルカラ、我慢ヲシテ、オ前達モ文句ヲ言フナト云フヤウナコトヲ理由トスルナラバ、私ハ獨リ恩給問題デハナイト思フ、是ハ委員會ニ於テモ屢〻私ハ發言シタノデアリマスルガ、一體今日ノ「ボーナス」所謂不當支出、國家ガ數千萬圓ノ不當支出ヲ年々歲々繰返シテ置キナガラ、而モ其額ハ餘リ世人ガ知リマセヌ、私ハ今年ノコトハ存ジマセヌガ、數年前ノ政府カラ渡サレマシタル「ボーナス」ノ額ハ六千萬圓以上デアルト云フコトヲ確實ニ知ッテ居リマス、是ハ旅費ノ殘トカ、俸給ノ殘トカ云フヤウナ名目デ以テ、謂ハバ誤魔化シテ集メテ官吏ニ配當スル年末賞與デアリマス、斯様ナコトヲ非常時ダカラオ前達モ我慢シロ、澤山金ヲ取ッテ居ルノダカラ矛盾撞著モアルダラウ、不公正ニナルダラウガ我慢シロト、斯ウ云フコトヲ言フ前ニモウ少シ公正ナル頭ニナッテ見テ、斯ウ云フ不當支出、自分達ノ「ポケット」ニ捻込ムコトニハ專念スルト云フヤウナ國家ノ公職ニ在ル人ガ考ヲ捨テテ、又私ハ言ヒ過ギカモ知レナイ、又同僚諸君ニ對シテ失禮カモ知レヌガ、既ニ先般俸給ヲ減額シテ、哀レナル二百圓以下ノ現俸給取リモ、一割近クノ、俸給ヲ割カレテ居ル此非常時ニ於テ、貴衆兩院議員ノ歲費ガ依然トシテ三千圓ヲ一文モ減ラシテ居ラレナイ、斯様ナルコトハ些末ナルコトデアリマスケレドモ、是ハ私共ノ知ッテ居ル少壯軍人ノ間ニ於テハ、甚ダ面白クナク感ジテ居ルコトト私ハ信ジテ居リマス、自分達ハ權力ガアル、議政壇上ニ物ガ言ヘルカラ自分達ハサウヤッテ置ク、我ミノヤウナ者ヲコッピドク虐メルト云フヤウナ考ヘガ若シサウ云フ人達ニアリマシタナラバ如何ナル結果ニナリマセウカ、是ハ私ハ大ナル問題ニナルト思ッテ居ルノデアリマス

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

ドウカサウ云フ風ノコトヲ切詰メ切詰メテ、サウシテ國家ノ貢獻者ハ、是ハ私ハ報本反始ノ精神カラ言ッテ見テモ、當然之ヲ尊崇シナケレバナルマイ、今日ハ我ミガ崇祖敬神ト云フコトニ付テ大ニ努力シナケレバナラナイト思ッテ居ルノニ、其立場ニ在ル所ノ先輩、今日ノ大日本ヲ形ヅクッタ所ノ多クノ功勞者ト云フ者ヲ、恰モ老衰シタルモノダカラ之ニ捨扶持ヲヤルンダト云フ如キ、根本觀念ニ依ッテ作ラレタル此恩給法案ノ精神ハ、是ハ私ハ微細ナルコトデハアルケレドモ、今回ノ恩給法改正ニ依ッテ根本的ニ、其處ニ觀念ガ違ッテ來ルト云フコトヲ私ハ思フノデアリマス、是ハ容易ナラヌ問題デアル、動モスレバ近頃新シイ思想ガドウノ斯ウノ、或ハ金持ニ對スル一種ノ嫉ミト申シマスカ、色ミノコトガアリマス、或ハ社會政策的トカ云フヤウナ言葉ヲ使ハレルカモ知レマセヌガ、社會政策的ト云フヤウナモノハモウ少シ公正ニシテ合理的ナモノデナケレバナラヌ、私ハ斯様ナル間違ッタ精神ニ依リ、間違ッタル衆論ヲ集メテ、サウシテ捏ヂ上ゲタル所ノ恩給法改正ノ精神ニ對シテ、全ク反對ヲシテ居ル一人デアリマス、又失禮ナガラ多年ノ研究ダト云フコトデアリマスルガ、私ハ甚ダ之ヲ失望シタノデアリマス、齋藤内閣ニナッテ初メテ本當ニ斯ウ云フモノニ、本當ノ精神ヲ打込ンデ御改正ニナッタモノガ出ルベキデアル、ソレヲ長イ間曝ラシモノニシテ、彼方ヲコヅキ、此方ヲコヅキ、何ダカ首尾一貫シナイヤウナモノヲ、ソレヲ齋藤内閣ノ時ニ御出シニナル、多年ノ研究ダ……十年潰ケテ置ケバ十年經チマスガ、ソレハ恐ラク研究ニハ私ハナルマイト思ヒマス、謂ハバ潰ケテ置イタト云フモノデアル、一番根本ノ觀念ハ、私ハ精神上ノ問題ヲ一番ニ御考ヘニナラナケレバナルマイト思フ、若シ又國家ガ財政ノ窮乏ヲ救フト云フコトデアリマスレバ、先程私ガ申上ゲマシタ瑣末ナ數字ヨリハ、玆ニ國家ニハ相當ニ所得稅ヲ納メテ居ル者モアリマス、多額ノ相續稅ヲ納メテ居ルモノモアリマスカラ、ソレガ爲ニ所得稅ナリ、相續稅ナリノ御改正ヲナサッテ寧ロ積極的ニ恩給ノ殖ヤスベキモノハ殖ヤシ、サウシテ國家ノ貢獻者ヲ優遇スルノ途ヲ開クト共ニ、又其收入ニ付テハ一方ニ多額ノ收入ノアル、餘裕ノアル者ニ付テ御課稅ノ標準デモ御改正ニナルト云フコトガ是ハ當リ前ノコトデアラウト思ヒマス、タマサカ簡單ナコトマデ申シマスト、金持ガ公職ニ當ッタ、公職ヲ退イタカラアレニハ恩給ヲヤラナクテモ宜イ、今回ハ僅カ二割トカ云フヤウナ問題ガアリマスケレドモ、其精神ニ至ッテハ私ハ全額ヤラナクテモ宜イト云フ精神ト、少シモ變ラナイト私ハ見テ居ルノデアリマス、金持ニハ恩給ヲヤラナクテモ宜シイ、ソコデ私ハ斯ウ云フ實ニ憐ルベキ感ジヲ追想セザル得ナイ、金持ノ大臣ニハ俸給ハヤラナクテモ宜イ、國家非常時ダ、我慢シロ、斯ウ云フ問題ガ必ズヤ起ッテ來ル、サウ云フコトデアリマスレバ、果シテ是ガ天皇政治ト言ハレマセウカ、私ハ此邊ノ問題ニ付テハ最モ尊敬スル所ノ齋藤首相ガ能ク能ク御噛ミ分ケニナッテ居ルコトト存ジマスガ、兎モ角長年ノ間研究シタモノダト云フ……マア恩給法ト云フモノハサウ度〻改正スルコトモ出來ヌ、一方ニハ哀レナル者ニ若干ノ增額モシテアルノダカラマア此邊デ出シテ置イテ、數年ホッポラカシテ置カウ、斯ウ云フ風ナ若シ御考デ、斯ウ云フモノヲ御出シニナッタトサレルナラバ、ソレハ非常ナ間違ヒデアッタト私ハ思フノデアリマス、私ハ是ハ單ナル恩給法ノ改正ト見ルコトガドウシテモ出來マセヌノデ、是ハ一般恩給者ニ對スル私ハ非常ナ侮辱ヲ與ヘタモノダト斷定スルノデアリマス、丁度軍人ニシテ見レバ、軍人ノ大禮服ヲ著テ居ル所ヘ、甚ダ汚イ言葉ヲ用ヒマスガ、糞尿ヲ掛ケラレタヤウナ私ハ感ジガ致スノデアリ

マス、カルガ故ニ私ハ本案ノ如キモノヲ通過可決スルト云フコトニハ絶對反對ヲ致ス者デアリマス

○議長（公爵德川家達君）　採決ヲ致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

（起立者多數）

○議長（公爵德川家達君）　多數ト認メマス

○子爵西大路吉光君　直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　贊成

○議長（公爵德川家達君）　西大路子爵ノ本案ノ第二讀會ヲ直ニ開ク云フ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

（起立者多數）

○議長（公爵德川家達君）　過半數ト認メマス、柳澤伯爵ヨリ定規ノ贊成ヲ得テ、修正案ヲ提出セラレマシタカラ、其修正案ヲ議題ト致シ、說明ヲ煩ハシマス、柳澤伯爵ノ登壇ヲ望ミマス

恩給法中改正法律案中修正案

右議院法第二十九條ニ依リ提出候也

昭和八年三月二十四日

發議者　伯爵柳澤保惠

贊成者

公爵鷹司　信輔　侯爵中御門經恭
侯爵德川　賴貞　侯爵松平　康昌
伯爵松木　宗隆　伯爵川村鐵太郎
伯爵黑木　三次　伯爵酒井　忠正
伯爵橘本　實斐　伯爵後藤　一藏
子爵伊集院兼知　子爵大久保　立
子爵西大路吉光　子爵井上匡四郎
子爵片桐　貞央　子爵保科　正昭
子爵岡部　長景　子爵松平　忠壽
子爵西尾　忠方　子爵富小路隆直
子爵裏松　友光　子爵戶澤　正己
子爵鍋島　直繩　子爵土御門晴善
子爵安藤　信昭　子爵綾小路　護
子爵高木　正得　男爵斯波忠三郎
男爵黑田　長和　男爵井田　磐楠
男爵岩倉　道俱　男爵井上　清純
男爵渡邊　汀　男爵稻田　昌植
男爵深尾隆太郎　男爵渡邊　修二
馬場　鍈一　大塚　惟精
西本健次郎　野村茂久馬
久米田新太郎　絲原武太郎
大谷　尊由

貴族院議長公爵德川家達殿

恩給法中改正法律案中附則第一條ヲ左ノ如ク修正ス

第一條　本法ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第四十六條ノ二、第五十八條第一項第四號及第五十九條ノ改正規定ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル）

○伯爵柳澤保惠君　私ハ特別委員長ノ報告ニ對シ反對ノ說ヲ有ッテ居リマス、只今上程セラレマシタル修正案ハソレデアリマス、此修正案ハ御手許ニ配付サレテアルト存ジマスガ、恩給法中改正法律案附則第一條ノ修正デゴザイマス、其文句ハ唯原案ニゴザイマス、「但シ第四十六條ノ二」ノ次ニ「及」トアル字ヲ削リマシテ、其次ノ行ノ「第四號」ノ次ニ「及第五十九條」ト云フ字ヲ加ヘルダケデゴザイマス、此五十九條ガ此處ニ這入リマシタカラ、五十九條ハ何デアルカト云フコトヲ簡單ニ申上ゲテ置キマス、此五十九條ニハ政府ノ原案ニゴザイマスル通リニ納付金ノ規定ガゴザイマス、卽チ文官、下士官以上ノ軍人、敎育職員、警察監獄職員、待遇職員、是等ノ人ニ對シマスル納付金ノ率ガ出テ居ルノデアリマス、文官ガ每月ノ俸給ノ百分ノ二、下士官以上ノ軍人ガ每月ノ俸給ノ百分ノ一、敎育職員ハ每月ノ俸給ノ百分ノ二、警察監獄職員ガ每月ノ俸給ノ百分ノ一、待遇職員ハ每月ノ俸給ノ百分ノ二、是ダケヲ納付スルコトニ規定サレテアルノデアリマス、此五十九條ヲ本年ノ十月一日ヨリ施行セズシテ、九年四月一日ヨリノ施行ト致ス方ガ穩當ト認メマシタノデ、之ニ修正ヲ致シタノデゴザイマス、簡單ニ理由ヲ申上ゲマス、第五十九條ニゴザイマス各種ノ納付金ハ、ソレヲ會計年度ノ半バ卽チ十月一日ニ於テナサシムルト云フコトハ、同一ノ會計年度ノ內ニ於ケル增俸進級者ニ對シ右期日卽チ十月一日ノ前後ニ由リマシテ恩給法納付金ニ不均衡ヲ生ジマス、又殊ニ甚シキ影響ヲ蒙ル所モゴザイマス、抑、各省ガ豫算ヲ編成スルニ當リマシテハ、其會計年度ニ於ケル事務ノ進涉ハ勿論ノコト、文官軍人等ノ增俸進級等ヲモ考慮ニ入レテ居ルノデアリマスカラ、年度ノ半バヨリ是等ノ人ニ屬スル納付金ヲ納入セシムルヨリ、寧ロ年度ニ於テ實行セシムルト云フコトガ最モ穩當ト考ヘルノデゴザイマス、是ガ修正案ニ對スル理由デゴザイマス、尙ホ皆樣ニ申上ゲマスガ、只今ノ委員長ノ報告ニ第七ノ問答ヲ申サレマシタ、又修正案ノコトモ御報告ニナリマシタ、此第七トシテ仰セラレマシタ問答ノコト竝ニ修正案ノ或モノガ私ノ申スコトニ該當シテ居ルノデアリマス、不幸ニシテ委員會ニ於テハ修正案ハ否決ニナリマシタガ、委員會ノ空氣ハ修正論デアッタノデアリマス、僅カナ人ノ數ノ相違ヨリ斯ウ云フ結果トナリマシタガ、正直ニ申上ゲマスト、委員會ノ空氣ハ此修正案ニ御贊成デアルノデアリマス、ドウゾ其邊ノコトモ御考ヘ下サイマシテ私ノ修正案ニ御同意ヲ願ッテ置キマス

○阪本釤之助君　贊否ヲ申上ゲテ宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵德川家達君）　贊否トハ何デスカ

○阪本釤之助君　贊成カ反對カト云フ……

○議長（公爵德川家達君）　修正案ニデスカ

○阪本釤之助君　ハア

○議長（公爵德川家達君）　勿論宜シウゴザイマス

○阪本釤之助君　ソレデハ贊成ヲ致シマス

○議長（公爵德川家達君）　他ニ發言モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマス、修正案ニ

同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
（起立者多數）
○議長（公爵德川家達君）　過半數ト認メマス、是ヨリ問題ト致シマスノハ殘リノ全部、殘リ全部ト御承知ヲ請ヒマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）
○議長（公爵德川家達君）　御異議ナイト認メマス、是ニテ第二讀會ヲ終リマシタ
○子爵西大路吉光君　直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵清岡長言君　贊成
○議長（公爵德川家達君）　西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）
○議長（公爵德川家達君）　御異議ナイト認メマス

○議長（公爵德川家達君）　輸出絹織物取締法中改正法律案政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、子爵松平直平君ノ登壇ヲ望ミマス

輸出絹織物取締法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和八年三月二十二日

委員長　子爵松平　直平

貴族院議長公爵德川家達殿

（子爵松平直平君演壇ニ登ル）

○子爵松平直平君　輸出絹織物取締法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、先ヅ本案提出ノ理由ニ付キマシテ其概略ヲ申上ゲマス、近年輸出人造絹織物ハ非常ナル進歩ヲ以チマシテ發達ヲ致シテ居リマス、デ昭和六年ニハ輸出額ガ三千九百餘萬圓デアリマシタノガ、昭和七年ニハ六千餘萬圓ニ增進ヲ致シテ居リマス、從來ノ絹織物トハ其位置ヲ變ヘマシテ、生絲、綿織物ニ次グ重要輸出品トナッタノデアリマス、併ナガラ動モスレバ粗製濫造ノ弊ニ陷リマシテ、漸次其品質ノ低下ヲ來タシマシテ、海外ニ於テ不評ノ聲ガ漸次高マリツツアルノデアリマス、政府ハ是ニ鑑ミマシテ、昭和六年以降重要輸出品取締法ノ規定ニ依リマシテ、縣及組合團體ヲシテ、輸出檢査ヲ厲行イタシマシテ、其粗製品ノ輸出ノ取締ヲナシタノデアリマス、併ナガラ其後ノ情勢ハ人造絹織物ノ輸出ガ益、增加ノ趨勢ヲ辿リマシテ、其半面ニ於キマシテハ、濫造ノ弊モ亦著シク增加ヲシテ參リマシタ、若シ此儘ニシテ推移セラルル時ニ於キマシテハ、海外ニ於ケル聲價ヲ失墜スルノ懸念ノアルコトデアリマスルカラ、速カニ適切ナル方策ヲ講ジテ、悔ヲ將來ニ貽サナイヤウニ致シタイ

（副議長公爵近衞文麿君議長席ニ著ク）

輸出貿易ニ付テ緊要ナルコトト考ヘマシテ、輸出絹織物取締法ノ改正ヲ致シ、國營檢査ノ制度ヲ設ケタノデアリマス、デ國營檢査ノ制度ヲ設ケマシテ輸出檢査ノ統一ヲ圖リ、輸出人造絹織物ノ海外ニ於テノ聲價ノ維持、向上ヲ圖ラムトスルノデアリマス、是ガ本案改正ノ大體ノ趣旨デアリマス、此案ニ對スル質問ハ左程ゴザイマセヌ、唯衆議院ニ於キマシテ本案ヲ可決スルニ當リマシテ、附帶決議ガ附イテ居リマス、其附帶決議ニ付テハ相當質問ガゴザイマシタ、商工大臣ノ出席ヲ求メテ政府ノ所見ヲ質シタノデアリマス、今其決議案ヲ讀上ゲテ見マスレバ

附帶決議

一現ニ輸出人造絹織物ノ檢查ヲナス組合、其聯合會、公益法人又ハ道府縣ガ本法ニ基ク命令ノ定ムル所ニヨリ整理前ノ檢查ヲ爲シタルトキハ輸出絹織物檢查所ハ之ガ檢查ヲ爲サザルコト

二檢查手數料ニ付テハ適當ニ輕減ヲ期スルコト

三檢查ノ施行ニ關シテハ簡易迅速ヲ圖リ以テ取引ニ遺憾ナカラシムルコト

此三箇條ガ附帶決議ニナッテ可決サレタノデアリマス、デ委員會ハ商工大臣ノ出席ヲ求メマシテ、此決議ニ付テノ質問應答ガアリマシタ、デ三箇條ノ附帶決議ハ當局ノ所見如何ト云フ質問ニ對シマシテハ、商工大臣ハ第一項ニ付テハ整理前、前後共ニ國營ニスルコトガ是モ完全ナルモノトハ認ムルケレドモ、整理前、卽チ生地ノ狀態ニ於ケル檢查ニ付テハ、他ノ機關ガ之ヲ行フ場合ニ國ノ檢查ヲ省略イタスコトニシテモ、其機關ハ政府ノ監督ノ下ニ檢查ヲ行フノデアルカラシテ、整理濟ノ製品ニ付テ國ニ於テ檢查ヲ行ヘバ其目的ヲ達スルコトハ出來ルモノト考ヘテ居ル、第二項ノ檢查手數料輕減ノ件デアリマス、ソレカラ又第三項ノ檢查施行ヲ迅速ニスル點、是ハ政府ニ於テモ當初カラ此事ハ考慮シテ居ルカラ、本案ノ實施上支障ナキヤウ致ス考ヘデアル、尙ホ整理前ト整理後トニ付キマシテハ、兩者ノ連絡ヲ十分ニ取リ竝ニ自治檢查ニ對スル十分ノ監督ヲ爲シテ、取引上ノ支障ヲ來サザルヤウ致ス考ヘデアルト云フ答辯デアリマシタ、要シマスルノニ商工大臣ハ衆議院ニ於ケル附帶決議ニ付テハ、貴族院ニ於テモ同樣ニ之ヲ尊重スル意味ニ於テノ明言ガアリマシタ、又一委員ハ國營檢查ノ目的ハ健全ナル輸出ノ增進ヲ圖ル施設ト思フガ、斯ノ如キ國營檢查ニハ手數料ヲ免除スルノガ至當デアラウト思フガ、政府ハ近キ將來ニ於テ之ヲ實現スルコトノ意思ガアリヤ否ヤト云フ問ニ對シマシテ、政府當局ハ御趣旨ノアル所ハ御尤モデアルケレドモ、目下財政ノ現狀ニ鑑ミテ直ニ之ヲ實施スルコトハ困難ト思フガ、御趣旨ノアル所ハ十分大藏當局トモ協議ノ上考慮イタストノ答辯デアリマシタ、ソレデ本委員會ノ總意ト致シマシテ、當局大臣ノ言明ヲ信ジ、衆議院ニ於ケル附帶決議ノ趣旨ヲ贊シマシテ、一人ノ

異議者ナク全會一致ヲ以テ本案ヲ可決イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君　直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　贊成

○副議長（公爵近衛文麿君）　西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君　直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　贊成

○副議長（公爵近衛文麿君）　西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　日程第十、兒童虐待防止法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、金杉英五郎君

兒童虐待防止法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和八年三月二十三日

委員長　金杉英五郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔金杉英五郎君演壇ニ登ル〕

○金杉英五郎君　只今議題トナリマシタル、兒童虐待防止法案ニ付テ、委員會ノ經過竝ニ結果ヲ極メテ簡單ニ御報告申上ゲマス、本委員會ハ去ヌル二十二日午後一時三十分開催イタシマシテ、直ニ質問應答ヲ繼續イタシマシタ、次デ二十三日ノ午前十時ヨリ十一時半マデ開催イタシマシタ、質問討論ヲ繼續イタシマシテ全部終了イタシタ次第デアリマス、本案ハ至ッテ簡單ナル法案デアリマスルガ、事人道ニ關スル大問題ナルガ故ニ、質問モ頗ル微細ニ亙リマシテ、殆ド全員ヨリ各種ノ質問ヲ續行セラレタノデアリマス、其主ナルモノヲ申上ゲマスルト、兒童虐待ト云フモノノ定義ハ如何ナルモノデアルカ、又兒童虐待ノ範圍ハ如何ナルモノデアルカ、又其種類ハ如何ナルモノデアルカト云フヤウナ質問ニ始マリマシテ、其引續キト致シマシテ、政府案ノ第七條ニ列記セラレテ居リマスル三項ヲ衆議院ガ削除シタルコトニ付テ、甚ダ不都合デアルト云フヤウナ意味ノ質問ガ全員ヨリ申出デラレタノデアリマス、御承知ノ通リ第七條ノ三ツノ項ト申シマスルノハ一、不具畸形ノ兒童ヲ觀覽ニ供スルコト、二、兒童ヲシテ乞食ヲ爲サシメ又ハ兒童ヲ用ヒテ乞食ヲ爲スコト、三、輕業、曲馬其ノ他之ニ類スル危險ナル業務ニシテ主務大臣ノ定ムルモノニ兒童ヲ用フルコトト云フコトガ、政府案ノ第七條ニアッタノデアリマス、之ヲ衆議院ニ於テ削除イタシタルコトハ、兒童虐待防止若クハ保護ノ精神ニ悖ルモノデアルト云フヤウナ議論ガ多カッタノデアリマス、ソレ故ニ是ハ政府案ヲ復活サセタイト云フヤウナ意向ガ全會委員ノ一致セル意見デアリマシタガ、會期切迫ノ折柄、修正シタル案デモ無イヨリハ宜カラウト云フヤウナ議論ガ多クナリマシテ、結局委員會ハ希望決議ヲ附シテ衆議院ノ修正案ニ贊成スルコトニ決定イタシタ次第デアリマス、其希望決議ハ政府ハ本法ノ實施ニ當リ左ニ揭クル行爲ノ如キハ最モ兒童ノ心身發達ニ惡影響ヲ及ホスモノナルカ故ニ必ス之ヲ禁止シ以テ本法制定ノ精神ヲ明カニセラレタシ

一、不具畸形ノ兒童ヲ觀覽ニ供スルコト

二、兒童ヲシテ乞食ヲ爲サシメ又ハ兒童ヲ用ヒテ乞食ヲ爲スコト

三、輕業、曲馬其ノ他之ニ類スル危險ナル業務ニ兒童ヲ用フルコト

卽チ政府案ノ第七條ノ三項目ヲ列記イタシマシタル希望條件デアリマスル、是ハ政府委員ハ必ズ此決議ニ期待シ得ルヤウニ取リ運ブト云フ御答デアリマシタガ、我ミハ此事柄ハ至ッテ小ナルガ如ク見エテ人道上輕輕ニ看過スベキモノニアラズト信ズルガ故ニ、今日改メテ內務大臣ヨリ此希望決議ヲ必ズ御厲行ニナルト云フコトノ確言ヲ得テ置キタイト信ズルノデアリマス、右御報告申上ゲマス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（男爵山本達雄君）　只今御報告ニナリマシタル兒童虐待防止法案ニ付テノ本院ノ決議條件ニ對シマシテハ、其事柄ハ誠ニ必要ナルコトデアルト政府ニ於テモ考ヘマスカラ、幸ニ此案ガ通過イタシマシテ實施セラルルニ當リマスレバ、希望決議ヲ尊重イタシマシテ、其御趣旨ヲ實行スルコトニ遺憾ナキヤウ期スル考ヘデゴザイマス、此段御答ヘ致シマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　本案ヲ第二讀會ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君　直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　贊成

○副議長（公爵近衛文麿君）　西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイモノト認メマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　全部委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君　直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　贊成

○副議長（公爵近衛文麿君）　西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　日程第十一、重要美術品等ノ保存ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長細川侯爵

重要美術品等ノ保存ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和八年三月二十三日

委員長　侯爵細川　護立

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君　重要輸出品等ノ保存ニ關スル法律案ニ付キマシテ、委員會ノ經過竝ニ結果ヲ申上ゲマス、本案ハ去ル二十日本會議ニ上程サレマシテ、其際大臣ヨリ詳細ナル說明ガアリマシタ、此處ニハ之ヲ繰返シマセヌ、委員會ハ二十二、二十三ノ兩日開イタノデアリマス、其質問ノ大體ヲ申上ゲマス、既ニ國寶ヲ大切ニスルコトハ分ッテ居ルガ、國寶以外ノ者ハ外國ニ出テモ差支ナカラウト云フ御質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテハ政府ハ國寶ノ指定ハ其手續、其經費其他ニ非常ニ愼重ニ且ツ時間ヲ要スルノデアル、曾テ古社寺保存法竝ニ近頃制定サレマシタル國寶保存法ノ雙方ノ法律ニ依リマシテモ、今日マデ其點數ガ四千餘點ニ過ギナイノデアリマス、然ルニ今日ハ此國寶タルベキ資格ガアリナガラ、其手續ノ濟マナイ貴重ナル物ガ澤山アルニ拘ラズ、爲替ノ關係デ是等ノ物ガ海外ヘ流出スル處ガ非常ニアルノデアル、此際速ニ其手續ヲスル必要ガアッテ此法律ヲ提出シタヤウナ次第デアルト云フ答辯デアリマシタ、更ニ然ラバ斯カル場合ニ國家デ以テ買上ゲルヤウナ方法ハ無イカト云フヤウナ質問ガアリマシタ、政府ニ於キマシテハ伊太利及佛蘭西等ニ於キマシテハ、斯カル法規ガアッテ甚ダ都合ガ好イノデアル、日本ニ於テモ固ヨリ斯カル事ハ好ム事デハアリマスルガ、經費其他ノ關係上、是ハ望ムベクシテ行ハレナイト云フ答辯デアリマシタ、更ニ直接ノ關係ハナイノデゴザイマスガ、神社竝ニ寺院ヲ同一法規ノ下ニ取扱フコトノ不都合、或ハ信仰ノ本體タル佛像ヲ美術品トシテ取扱フノ不都合等ノ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ當局ハ今日ノ場合是等ノモノヲ同一ノ法規ノ下ニ取扱フノハ亦已ムヲ得ヌト云フ答辯デアリマシタ、其他字句等ニ於キマシテ二三ノ質問ガアッタノミデアリマス、質問ヲ終リマシテ討議ニ入リマシタガ、發議者ハ二人アリマシテ、何レモ贊成ノ意見デアリマシタ、其大體ヲ綜合イタシマスルト、國寶保存法ハ其運用今日マデ、經費ノ都合其他ニ依ッテ未ダ完璧ト云フコトハ申シ難イノデアル、此度ノ法律ニ依ッテ更ニ其缺點ノ一部ヲ補フコトガ出來ルノハ、自分達ノ誠心贊成スル所デアル、尙ホ政府ハ將來ニ於テ更ニ經費其他ノ計上ヲ圖リ、此法案ノ趣旨ヲ飽ク迄モ十分ニ徹底スルヤウニト云フ、寧ロ鞭撻的ノ意味ヲ以チマシテ、贊成意見ガアッタノミデアリマス、討論後ハ一人ノ異議ヲ唱フル者ナク、本案ハ可決セラレタ次第デアリマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　本案ヲ第二讀會ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君　直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　贊成

○副議長（公爵近衛文麿君）　西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君　直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　贊成

○副議長（公爵近衛文麿君）　西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス

○副議長（公爵近衛文麿君）　第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（公爵近衛文麿君）　御異議ナイト認メマス、明日ハ午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後零時二十九分散會

內閣印刷局